

様式1

令和7年度 第2回学校運営協議会報告書

学校名	鳥取県立米子養護学校
開催日時	令和7年10月28日(火) 午前10時から午前11時30分まで
会 場	米子養護学校 応接室

1 開会

2 学校長あいさつ

3 委員及び参加者の出席・欠席報告

- ・学校運営協議会委員・・・出席者7名 欠席者4名
- ・オブザーバー・・・・・・出席者4名 欠席者1名

4 実践報告

●各学部の地域学校協働活動等の取組状況について（主幹教諭より報告）

小学部：地域交流の実施（周辺校交流）

今後は、巖公民館を通して音楽会への招待を予定

中学部：花植、プランター配布、地域清掃活動（全て地域学校協働活動推進員及び地域のボランティアの方々が参加）

高等部：発展コースの神楽公演（第67回日本小児神経学術集会・※巖地区の方々による巖塾）

生活コースの※学校間交流（県立白鳳高校／郷土芸能部）

《今後の予定》

- ・巖公民館祭で作業製品販売
- ・皆生さんさん祭で生活コースの伝統芸能の発表
- ・境港市で発展コースの神楽公演及び作業製品販売

巖公民館館長

※巖地区では、この学校について「近くなのに行ったことがない」という声があがっていた。今回神楽を間近で見せていただいたところ、大迫力だと感動しておられた。実際に生徒のみなさんと話もできて良かった。今後もこういった企画を続けていきたい。

社会福祉法人養和会、米子サン・アビリティーズ

※同年代でのスポーツ交流がなかなかできない中、学校間交流でお互いに関わり合

えるのは楽しいだろうな、と思う。続けてほしい。

●本校PTA活動について（副校長より報告）

- ・各部（執行部・研修サポート部・文化事業部・人権研修部）の実施報告
- ・PTA作業「みんなの壁画プロジェクト@けんべいプール」の参加人数と作業内容の報告、今後の予定のお知らせ
（協議会后に現地で状況観察）

5 意見交換・協議

R7 学校自己評価（中間評価）について（副校長・教頭・主幹教諭・教務主任・事務長）

【内容】

- ・各学部と各分掌の評価項目、中間評価及び評価基準、経過・達成状況及び改善方策の説明

【質問・意見】（質問の回答は「→」にて表記）

●児童生徒アンケートについて

巖公民館館長

どのように実施するのか？特に重度の障がいのある児童生徒にアンケートする際はどのようにするのか知りたい。

→（小学部）どのような言葉や聞き方をするのかは検討している。

絵カードや写真を使って聞く方法もある。

児童のどんな姿が「好き」「学びたい」「やってみたい」の気持ちを表しているのかは、日頃から関わっている教職員が観察している。

→（中学部・高等部）単一障がい学級の生徒は選択して回答したり、記述できるようにしたりしている。

重複障がい学級の生徒は、絵カードなどを使って指差しで選択したり、日頃からの様子を観察して評価したりしている。

●公務災害について

米子警察署蚊屋駐在所

- ・公務災害は「意図的にけがをさせられる（悪意がある）ケース」と「不可抗力でけがをする・けがをさせられる（悪意がない）ケース」がある。基本、警察官は逮捕術の訓練をしており、犯人と揉め合う時にはけがのひとつやふたつはあるので、公務災害はよっぽどのことがないかぎり申請しない。
- ・児童生徒は相手にけがをさせたいなどと悪意があるわけではない。教職員は児童生徒が暴れたときには距離をとることが大切。危険回避もそうだが、距離が近すぎると児童生徒の様子が見えないからである。距離をあけて、遮蔽物を間に置き、様子を見ながら近づくようにしたら良い。また、けがをしないように

長袖のインナーを着るのも重要である。

寿製菓株式会社

- ・公務災害の申請は、負傷の度合いではなく個人判断であるため、職員によっては軽い負傷でも申請する。負傷した場合は報告があるので、把握をしている。
- ・メンタル面については、1人で抱え込まずに組織で対応するようにしている。外部からの苦情対応の専門職を雇用してはいないので、対応に苦勞することはない。

●防災について

巖公民館館長

- ・先日巖地区で防災フェスタを開いたら100人ちょっとの来場者があった。楽しい企画をしたら人が集まる。実際地震や河川の氾濫があったときに避難できるのか。地域ぐるみで避難訓練が今後必要になると思う。

●生成AIの活用について

米子警察署蚊屋駐在所

- ・警察の調書等は、供述が変化していくので、その都度記録をとる。そういう背景もあるので、警察では生成AIの導入はないだろう。

●評価について

寿製菓株式会社

- ・けんべい祭と就労フェスタに参加して、児童生徒が輝いていて、先生方の日頃の取組の良さを感じた。「もっと良くしていきたい」という先生方の気持ちや謙虚さがあるからかもしれないが、評価が「B」というより「A」でも良いのではないかと思う。企業内の評価は最高が「S」であるため、「B」が低いと感じているかもしれない。

6 その他

(1) 第3回の開催について

令和8年2月24日（火）午前10時から午前11時30分まで（予定）

(2) 令和7年度「鳥取県地域とともにある学校づくりフォーラム」について（既に配布済み）

7 あいさつ（学校長）

8 閉会